

## 一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和2年8月21日  
東村山市議会議長 あて

議席番号 19番  
質問者 村山じゅん子

### 記

#### 1. 前川の溢水、浸水対策の取り組みについて

前川流域の浸水被害が起きる地域の住民は、一日も早い抜本的な溢水対策の実現を望んでいます。前川溢水対策、浸水対策の取り組みについて、以下質問します。

- (1) 徳蔵寺橋左岸側のバイパス整備について、整備内容、進捗状況、スケジュールを伺います。
- (2) (1)以外の前川護岸改修工事等検討業務の内容と進捗状況を伺います。
- (3) 市長はタウンミーティング（130回）で、前川溢水対策の抜本的な対策として、一時貯留施設（貯留池）の整備について、莫大な費用が掛かることから財源の確保をしながら対応を考えていきたいと答えられています。計画策定の予定はいつ頃になるのか、どう推進していかれるのか、お考えを伺います。
- (4) 水位情報の表示（正常・注意・警戒・危険）が、「現在の水位ページ」と「詳細ページ」水位チャートの表示は連動しているか、タイムラグはどの程度か伺います。
- (5) 自ら行うことができる浸水対策として、市内各所に土のうステーションが設置されました。利用状況や利用する際の課題等はあるか伺います。

- (6) 建物への浸水被害の防止・軽減を図るために止水板の設置が有効です。前川流域に限らず、道路冠水のために浸水してしまう地域でも有効な対策です。止水板の設置、それに伴う関連工事に対して助成金を交付することを求めます。見解を伺います。

## 2. 環境にやさしい電気自動車の導入と充電インフラの整備を

地球温暖化が進み、気温もさらに上昇すると予測されています。環境に配慮したまちづくりの形として、また災害時の電力供給「動く蓄電池」として役立つことから、公用車に電気自動車（次世代自動車）の導入と充電インフラの整備を推進していくべきと考え、以下質問します。

- (1) 当市が進めてきた地球温暖化対策を伺います。
- (2) (1)の取り組みによる効果を伺います。
- (3) 次世代型自動車（電気自動車 EV、プラグインハイブリッド自動車 PHV、天然ガス自動車 CNG など）及び低燃費・低公害車の当市公用車への導入状況を伺います。
- (4) 環境に配慮したまちづくりの一つとして、また災害時の電力供給「動く蓄電池」として役立つことから、公用車に電気自動車（次世代自動車）の導入と、充電インフラの整備を計画的に推進していくべきと考えます。見解を伺います。
- (5) 総括して、市長の見解を伺います。